

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-029461

(43)Date of publication of application : 07.02.1991

(51)Int.Cl.

H04N 1/00  
H04L 9/32

(21)Application number : 01-162994

(71)Applicant : MATSUSHITA GRAPHIC COMMUN SYST  
INC

(22)Date of filing : 26.06.1989

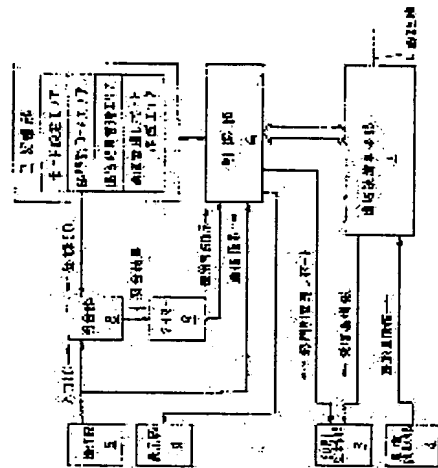
(72)Inventor : WATANABE MASAO

## (54) IMAGE COMMUNICATION EQUIPMENT

## (57)Abstract:

PURPOSE: To prevent illegal use of the equipment by starting the count of a prescribed time when the user identification information is in matching with user identification information registered in advance and applying communication command from an operation section to a communication equipment main body for a prescribed time only.

CONSTITUTION: When user identification information (ID code) in a prescribed digit number is inputted by the key operation of an operation section 5, whether or not the user identification information in matching with the user identification information registered in a code area by department in a storage section 7 is collated and when the entered user identification information as the result of collation is in matching with the user identification information registered, a timer 9 is started and the count of the prescribed time is finished. Then while the timer 9 completes the count for the prescribed time, the mode reaches the standby state awaiting the input of a communication command from the operation section 5 and the communication command is applied from the operation section 5 before timeout, then the communication equipment main body 1 applies the prescribed communication in response to the communication command. Thus, the equipment 1 used illegally is prevented.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

本厚夏引例 (特許文報 1)

⑨ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報 (A) 平3-29461

⑬ Int. Cl. <sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)2月7日

H 04 N 1/00  
H 04 L 9/32

C 7170-5C

6945-5K H 04 L 9/00

A

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 画像通信装置

⑯ 特 願 平1-162994

⑰ 出 願 平1(1989)6月26日

⑱ 発 明 者 渡 辺 昌 夫 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下電送株式会社内  
 ⑲ 出 願 人 松下電送株式会社 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号  
 ⑳ 代 理 人 弁理士 栗野 重孝 外1名

## (57) 【要約】

〔目的〕 使用者識別情報が予め登録された使用者識別情報と合致したときに所定時間の計時を開始させて所定時間だけ操作部から通信装置本体部に対する通信指示を可能とすることにより、装置の不正使用を防止する。

〔構成〕 操作部5のキー操作によつて、所定桁数の使用者識別情報 (IDコード) が入力されると、この使用者識別情報と合致する使用者識別情報が記憶部7の部門別コードエリアに登録されているか否かが照合され、照合の結果、入力された使用者識別情報が登録された中の使用者識別情報と合致したならば、タイマー9が起動されて所定時間の計時が開始される。この後、タイマー9が所定時間を計時し終わるまでの間、操作部5から通信指示が入力されるのを待つ待機状態となり、使用者がこのタイムアップ前に操作部5から通信指示操作を行うことで、この通信指示操作に応じて通信装置本体部1が所定の通信動作を行う。これにより装置1が不正使用可能な状態に陥ることが防止される。

【画像 通信 装置 使用者 識別 情報 登録 合致 所定 時間 計時 開始 操作部 通信 装置 本体 通信 指示 可能 装置 不正 使用 防止 キー 操作 所定桁 数 ID コード 入力 記憶部 部門別 コード 領域 照合 結果 中の 棚 タイマ 起動 待機 状態 使用者 タイムアップ 指示 操作 通信 動作 状態】

(2)

1

2

**【特許請求の範囲】**

画情報の送受信を行なう通信装置本体部と、使用者が使用者識別情報および上記通信装置本体部に対する通信指示を入力するための操作部と、入力された使用者識別情報があらかじめ登録された使用者識別情報と合致するか否かを照合する照合手段と、上記照合の結果が合致であったときに所定時間の計時を開始するタイマー手段と、上記操作部から上記通信装置本体部に対する通信指示を上記タイマーによって計時される所定時間内に限定する制御手段と、通信結果情報を上記使用者識別情報別に管理する制御手段とを備えた画像通信装置。

10

(3)

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-29461

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 平成3年(1991)2月7日

H 04 N 1/00

C 7170-5C

H 04 L 9/32

6945-5K H 04 L 9/00

A

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑰ 発明の名称 画像通信装置

⑱ 特 願 平1-162994

⑲ 出 願 平1(1989)6月26日

⑳ 発 明 者 渡 辺 昌 夫 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下電送株式会社内

㉑ 出 願 人 松下電送株式会社 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号

㉒ 代 理 人 弁理士 栗野 重孝 外1名

## 明 細 書

## 従来の技術

## 1. 発明の名称

画像通信装置

## 2. 特許請求の範囲

画情報の送受信を行なう通信装置本体部と、使用者が使用者識別情報および上記通信装置本体部に対する通信指示を入力するための操作部と、入力された使用者識別情報があらかじめ登録された使用者識別情報と合致するか否かを照合する照合手段と、上記照合の結果が合致であったときに所定時間の計時を開始するタイマー手段と、上記操作部から上記通信装置本体部に対する通信指示を上記タイマーによって計時される所定時間内に限定する制御手段と、通信結果情報を上記使用者識別情報別に管理する制御手段とを備えた画像通信装置。

## 3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、使用者識別機能いわゆる ID 機能を有する画像通信装置に関する。

従来のこの種の装置は、第5図に示すように、電話回線などの通信回線 L に接続されて画情報の送受信を行なう通信装置本体部 1 と、原稿から画情報を読み取る読取部 2 と、画情報を記録紙に印刷記録する記録部 3 と、各部の動作を集中的に制御する制御部 4 と、使用者が上記通信装置本体部 1 に対する通信指示などを入力するための操作部 5 と、磁気カードから使用者識別情報(IDコード)を読み取って入力するカード読取部 6 と、操作ガイドや動作状態などを表示する表示部 7 と、使用者識別情報が登録される記憶部 8 とを有し、カード読取部 6 から入力された使用者識別情報が上記記憶部 8 にあらかじめ登録された中の使用者識別情報に合致した場合だけ、操作部 5 からの通信指示に基づく通信装置本体部 1 の動作を可能にするとともに、通信結果情報を上記使用者識別情報別に管理することが行なわれていた(たとえば、特開昭 60-203062 号公報、特開昭 62-233669 号公報、特開昭 22253 号公報参照)。

(4)

## 特開平3-29461(2)

この場合、使用者は、磁気カードをカード読取部に差し込んでから装置の使用を開始し、装置の使用が終了したならば磁気カードを抜き取って保管する。装置は、カードが差し込まれている間使用可能な状態にある。

## 発明が解決しようとする問題点

しかし、かかる構成によれば、使用者の過誤によって装置が使用不能になったり、あるいは装置が不正使用される状態に陥る場合が多くなる、という問題があった。

上述の問題は以下の理由で生じる。

すなわち、第1に、この種の装置では、正当な使用者であっても、磁気カードの紛失あるいは不携帯によって装置が使えなくなってしまうことがある。このため、使用者は、磁気カードの管理という煩わしさを強いられる。

第2に、使用者が磁気カードをカード読取部に差し込んだままで装置から離れると、その間に第3者による不正使用が可能になる状態が生じる。これを防ぐためには、使用者は装置の使用開始か

ら終了までの間中、装置に付きりていなければならない。しかし、多数枚の原稿を送信するような場合、装置の使用時間は非常に長くなるため、使用者が常に装置に付きりていることは実際に困難である。

本発明は、上述の課題に鑑みてなされたもので、使用者にカード管理の煩わしさを強いることなく、かつ使用者を長時間装置に付きりにさせることなく、装置が不正使用可能な状態に陥ることを確実に防ぐことができる画像通信装置を提供することを目的とする。

## 課題を解決するための手段

本発明は上述の課題を解決するため、操作部から入力された使用者識別情報があらかじめ登録された使用者識別情報と合致するかどうかを照合させ、照合の結果が合致であったときに所定時間の計時を開始させて、この計時が終了するまでの所定時間だけ、操作部から上記通信装置本体部に対する通信指示を可能にさせるという構成を備えたものである。

## 作 用

本発明は、上述の構成によって、使用者を識別するための情報を操作部から入力することができるとともに、登録済の使用者識別情報が入力されることによって装置が使用状態になっても、上記識別情報の入力から所定時間が経過すれば、それ以後は操作部から新たに通信指示を行なうことができなくなるため、使用者にカード管理の煩わしさを強いることなく、かつ使用者を長時間装置に付きりにさせることなく、装置が不正使用可能な状態に陥ることを確実に防ぐことが可能となる。

## 実 施 例

第1図は本発明の一実施例による画像通信装置の概略構成を示すものであって、1は電話回線などの通信回線に接続されて画情報の送受信を行なう通信装置本体部、2は原稿から画情報を読み取る読取部、3は画情報を記録紙に印刷記録する記録部、4は各部の動作を集中的に制御する制御部、5は使用者が使用者識別情報および上記通信装置本体部1に対する通信指示などを入力するた

めの操作部、6は操作ガイドや動作状態などを表示する表示部、7は使用者識別情報や部門別管理情報などが登録される記憶部、8は入力された使用者識別情報があらかじめ登録された使用者識別情報と合致するかどうかを照合する照合部、9は上記照合の結果が合致であったときに所定時間の計時を開始するタイマーである。

ここで、記憶部7には、部門別管理を実施するかどうか登録されるモード設定エリア、あらかじめ任意に設定された使用者識別情報(IDコード)が複数登録される部門別コードエリア、通信結果を記憶する通信管理結果エリア、使用者識別情報別の通信管理レポートを作成するための通信管理レポート作成エリアなどが設けられている。

制御部4には、通信装置本体部1を所定の標準手順にしたがって制御する通信制御機能のほかに、操作部5から通信装置本体部1に対する通信指示をタイマー9によって計時される所定時間内に限定する制御機能、通信結果情報を上記使用者識別に管理する制御機能などが組み込まれている。こ

(5)

## 特開平3-29461(3)

の制御部4は、照合部8およびタイマー9などとともに、マイクロ回路化された汎用情報処理装置いわゆるマイクロコンピュータを用いて集中的に構成することができる。

以上のように構成された画像通信装置について、以下その動作を説明する。

第2図は、第1図に示した装置の概略動作を示したものであって、まず、装置の使用開始に際し、記憶部7のモード設定エリアが参照されて部門別管理モードが設定されているか否かがチェックされる(S1)。このモード設定は装置の管理者によってあらかじめ行なわれる。

部門別管理モードが設定されていなかったならば(S1-NO)、装置はただちに使用可能な状態になって、第3図の33に示すように、通信動作が可能であることを示す操作ガイドが表示される(S6)。

部門別管理モードが設定されていた場合には(S1-YES)、第3図の31に示すように、たとえば4桁の暗証数字からなる使用者識別情報(部

門別IDコード)の入力を促すガイド表示が行なわれる(S2)。このガイド表示は、第3図の31と32に示すように、暗証数字が1桁入力されるごとにカーソルが1桁ずつ移動することにより、使用者に現在の入力桁位置を確認させやすくするように行なわれる。なお、使用者識別情報は、装置の管理者によってあらかじめ登録される。

操作部5のキー操作によって、所定桁数(4桁)の使用者識別情報(IDコード)が入力されると、この入力された使用者識別情報と合致する使用者識別情報が記憶部7の部門別コードエリアに登録されているか否かが照合される(S3)。

上記照合の結果、入力された使用者識別情報が登録された中の使用者識別情報と合致しなかったならば(S3-NO)、第3図の34に示すように、使用者識別情報が登録されていない旨の表示が行なわれて、最初の状態に戻る(S4、S1)。

一方、上記照合の結果、入力された使用者識別情報が登録された中の使用者識別情報と合致したならば(S3-YES)、タイマー9が起動されて所

操作を行なうことができなくなる。

また、部門別管理モードが設定されている状態で通信動作が終了すると、このときの通信結果情報は、使用者識別情報を付されて記憶部7の通信結果管理エリアに記憶される。

操作部5から部門別の管理レポート作成の指示が入力されると、制御部4は、上記通信管理エリアに記憶された情報を読み出し、通信管理レポート作成エリアを使って部門別の管理レポートを作成し、記録部3から印刷出力させる。

第4図は、上述のようにして得られる部門別管理レポートの一例を示す。

以上のようにして、使用者を識別するための情報を操作部5から入力することができるとともに、登録済の使用者識別情報が入力されることによって装置が使用状態になっても、上記識別情報の入力から所定時間を経過すれば、それ以後は操作部から新たに通信指示を行なうことができなくなるため、使用者にカード管理の煩わしさを強いることなく、かつ使用者を長時間装置に付きりにさせ

定時間の計時が開始される(S5)。これとともに、第3図の33に示すように、通信動作が可能であることを示す操作ガイドが表示される(S6)。

この後、上記タイマー9が所定時間を計時し終わるまでの間、すなわちタイムアウトになるまでの間、操作部5から通信指示が入力されるのを待つ待機状態となる(S7、S8)。このタイムアップまでの所定時間は、使用者が操作部5から所定の通信指示を入力操作するのに必要な長さ(たとえば数十秒程度)に選ばれている。

ここで、使用者が上記タイムアップ前に操作部5から通信指示操作を行なえば、この通信指示操作に応じて通信装置本体部1が所定の通信動作を行なうようになる(S9)。

しかし、使用者が上記タイムアップ前に通信指示操作を行なわなかった場合、その後の通信指示操作は無効にされる。つまり、操作を使用するための操作ができなくなる。上記タイムアップ前の通信指示操作によって装置が一旦通信動作を開始した後も、タイムアップ後は、あらたな通信指示

(6)

## 特開平3-29461 (4)

ることなく、装置が不正使用可能な状態に陥ることを確実に防ぐことができる。

## 発明の効果

以上の説明から明らかなように、本発明は、操作部から入力された使用者識別情報があらかじめ登録された使用者識別情報と合致するか否かを照合させ、照合の結果が合致であったときに所定時間の計時を開始させて、この計時が完了するまでの所定時間だけ、操作部から上記通信装置本体部に対する通信指示を可能にさせることによって、使用者を識別するための情報を操作部から入力することができるとともに、登録済の使用者識別情報が入力されることによって装置が使用状態になっても、上記識別情報の入力から所定時間を経過すれば、それ以後は操作部から新たに通信指示を行なうことができなくなるため、使用者にカード管理の煩わしさを強いることなく、かつ使用者を長時間装置に付きりにさせることなく、装置が不正使用可能な状態に陥ることを確実に防ぐことができる、という効果を有するものである。

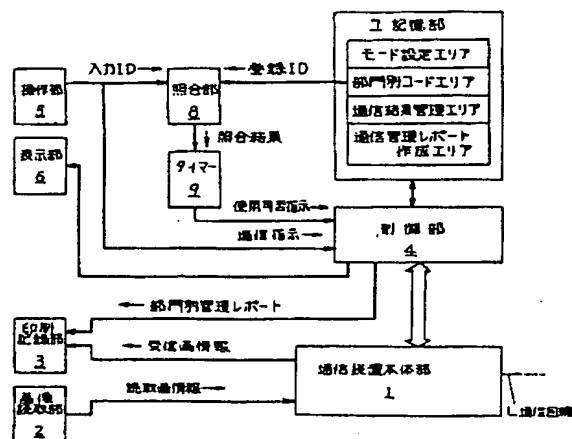
## 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例による画像通信装置の概略構成図、第2図は同装置の要部における概略動作を示すフローチャート、第3図は同装置の使用に際して行なわれる表示例を示す図、第4図は同装置にて作成される管理レポートの一例を示す図、第5図は従来の画像通信装置の概略構成図である。

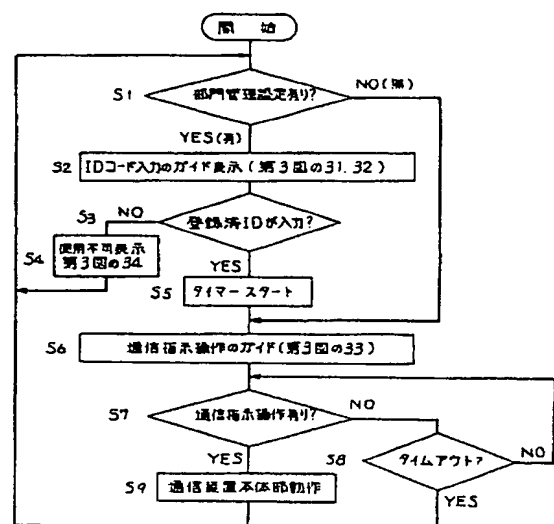
L…通信回線、1…通信装置本体部、2…画像読取部、3…印刷記録部、4…制御部、5…操作部、6…表示部、7…記憶部、8…照合部、9…タイマー。

代理人の氏名 弁理士 栗 野 重 孝 ほか1名

第 1 図



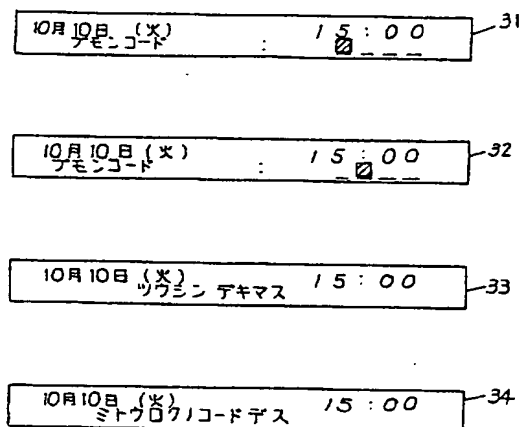
第 2 図



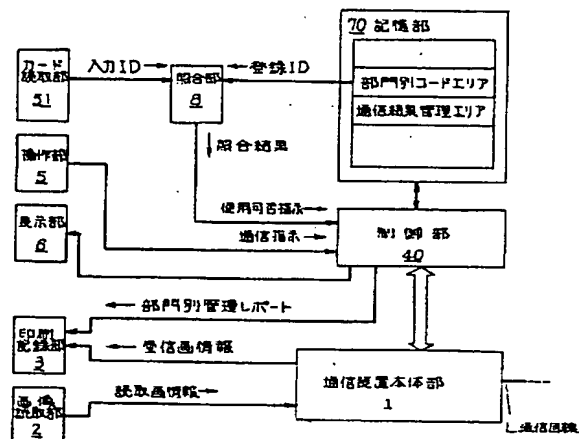
(7)

特開平3-29461 (5)

第 3 図



第 5 図



第 4 図

ツツシンカンリレポート										09-03-07 8:30	
アモンベツツツシン											
トータルページ: 0012											
トータル時間: 00' 05' 45											
キカクシツ											
NO	ヒツケ	ジカン	アイテ	モード	ツツシンジカン	ページ	ヨマクN0	ジョウキョウ			
01	03-06	10:30	03 491 9191	ソツシン	00' 30	02		OK			
02	03-06	14:15	キリケンキョウジ	ホーリテ	02' 15	05		OK			
03	03-06	19:40	カイガイ イイキョウ	ソツシン	00' 00	00	01	アイシヨウキョウ			
04	03-06	19:45	カイガイ イイキョウ	ソツシン	00' 45	02		OK			
					トータル:	03' 40	09				
トウキョシツ											
NO	ヒツケ	ジカン	アイテ	モード	ツツシンジカン	ページ	ヨマクN0	ジョウキョウ			
01	03-06	11:00	045 765 4321	ソツシン	01' 45	02	02	OK			
02	03-06	13:00	ホーシヤ ソツマ	ホーリテ	00' 20	01		OK			
					トータル:	02' 05	03				